

令和6年度第13回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和6年11月12日（火）9：30～9：46
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 福本教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員 吉井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（福本教育長）

それでは、教育委員会会議を始めます。

本日は、議案3件、協議事項7件、報告事項1件です。まず、非公開事項について、お諮りいたします。議題のうち、協議事項39、協議事項40については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、職員の人事に関する事。教第30号議案、教第31号議案、教第32号議案については、同項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。協議事項14、協議事項38、報告事項1については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（賛同）

（福本教育長）

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

協議事項36 市立幼稚園の園児募集状況について

（福本教育長）

協議事項36、市立幼稚園の園児募集状況について、事務局より説明をお願いします。

（都築学校教育課長）

市立幼稚園の園児募集状況について、令和7年度の見込みを示しております。10月23日の募集期間終了時点ですので、この後若干数字が動くとは思われますが、昨年度より約127人減少しております。来年度から、灘すずかけ幼稚園、やまびこ幼稚園、青山台こば

と幼稚園で3年保育を始める予定です。また、9月4日の教育委員会会議で決定させていただきましたように、今後の市立幼稚園の在り方の方針として、13園閉園の予定でございます。休園中の4園は募集しておりませんが、残り9園も子供の数が増加している状況でして、令和8年度に4歳児の最終募集、9年度に募集停止、10年度末に閉園という方針としています。

(福本教育長)

何か御質問等ございますか。

(今井委員)

事前の想定と今回の募集状況は一致していたのか、あるいはずれていたのか、その辺りについて感想でも良いので教えていただけますか。

(都築学校教育課長)

数字の想定値までは置いていませんが、令和元年は1,500人以上いました。それが毎年大体1割強ずつ減少しておりますので、ある程度想定内ではありました。ただ、今回は3年保育を新たに実施した園がございましたので、その園についてはもう少し応募があるのではないかと考えていましたが、このような数字になっている状況です。

(福本教育長)

他によろしいですか。

それでは、次の案件に参ります。

協議事項10 学年（チーム）担任制について

(福本教育長)

協議事項10、学年（チーム）担任制について、事務局より説明をお願いします。

(都築学校教育課長)

学年（チーム）担任制の今年度の実施状況でございます。1. 概要のところですが、ローテーションで学級担任を回す方法等ということで、令和6年度は小学校5校、中学校3校、義務教育学校1校と拡大してモデル実施を行っています。2. 課題が2つございまして、①「児童生徒や保護者が、どの教員に相談したらよいか分かりづらい」。こちらの対応例としましては、担任が交代する際に掲示で示す方法や、ローテーション表や学年便り、すぐー等で周知する方法がございまして。課題②「教員間で児童生徒の情報共有や事務引き継ぎ等のもれが起りやすい」。こちらは、隙間時間を活用した報告・連絡・相談、ま

た、校務支援システムのチャットやTeamsを活用して情報交換をしております。

3. にアンケート結果を示しており、若干でございますが、肯定的意見が増えております。最後、4. 学校運営面での効果ですが、実際に実施している学校等や大学の研究等から出てきた結果ですと、学級間格差が少ない安定した学年運営や、事案ごとにチームで対応することで教員にとっての心理的負担が軽減される。また、教員の資質向上、休職、離職の未然防止といった面で効果があると思われま。我々としては、対話機会が増加することによりまして、ベテランから若手に経験を継承したり、逆にICTが得意な若手がベテランを支援したりするという相互関係が生まれ、1人で抱え込まない仕組みとして有効であると考えております。

(福本教育長)

なお、今後の方針に係る内容については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、後程非公開の場で協議したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

それでは、今後の方針以外の部分で御質問等ございましたらお願いします。

(山下委員)

2. 課題への対応状況の課題②「情報共有や事務引継等のもれが起りやすい」というところですが、例えば漏れやすい情報や事務引継の傾向みたいなものが分かれば教えていただきたいです。

(坂田初等教育担当課長)

各校がローテーションのタイミングをそれぞれ考えていますが、ローテーションを行うときに起りやすいようです。例えば月曜日がローテーションのタイミングの場合であって、金曜日に、月曜日も継続して子供に指導しなければいけないような事案が些細な事であっても発生した場合等、そういう変わり目のところでやはり漏れやすいです。内容というよりは、そういったタイミングのところが一番漏れが起りやすいと聞いています。

(都築学校教育課長)

内容面に関しては、当然重大な内容は共有しています。その他、保護者からの連絡等細かなところは漏れが起きやすいです。ただ、子供にとっては非常に重要なことかもしれま

せんので、先程申し上げましたようにモデル校では漏れが起きにくいような対応をいただいているところでございます。

（山下委員）

音声をいつでもすぐに吹き込んで、それが文字化されるようなことができれば良いのですが、もう少しテクノロジーの進歩を待たないといけないところがあるかもしれないですね。少しお手間をかけるかもしれませんが、遺漏のないように学校現場にはお願いしたいと思います。

（本田委員）

児童生徒へのアンケート結果の中に否定的な意見が数%ですがあります。その理由は今出ている課題①、②にまつわるようなものなのか、全然違うものなのか、分かる範囲で教えてください。

（都築学校教育課長）

後ろの〔参考〕にもございますとおり、否定的な意見も一定はあると思います。これが、課題①の対応状況に直接リンクしているかは分かりませんが、子供たちは先生が替わることに割と柔軟に対応してもらっているかと思います。どちらかという、保護者やベテランの先生等の方が、若干抵抗感があるという状況だと思っています。

（福本教育長）

昨日スクール・ミーティングで行かせていただいた学校も見させていただきましたので、委員の皆さんも割と分かりやすい状況かと思います。否定的な意見のところは、たまたま今の先生と相性が良い子供がいて、敢えて離れるのは嫌だという状況があり、この結果になっています。今の時代なので、全体的には学年（チーム）担任制という形が良いのではと考えています。

よろしいでしょうか。

では、次の案件に参ります。

協議事項37 市立特別支援学校における児童生徒の増加対策について

（福本教育長）

協議事項37、市立特別支援学校における児童生徒の増加対策について、事務局より説明をお願いします。

（甲斐特別支援教育課長）

2 ページを御覧ください。まず、市立特別支援学校の児童生徒の人数です。2024年現在で1,334人ということで、そのうち約8割以上の児童生徒が知的障害の児童生徒ということで、この部分が非常に増加しています。

3 ページから4 ページにかけて、その中でも特に小学部、中学部の児童生徒が増えているということ。また、学校別に見ると、西区のいぶき明生支援学校での児童生徒が非常に増えています。

その背景が、5 ページ目以降に記載されております。知的障害の児童生徒が増加する背景の一つとしては、18歳未満の児童生徒の療育手帳の交付件数が非常に増えているということで、これは神戸市に限らず政令指定都市や他の近隣自治体でも同様の傾向が見られております。

また、6 ページになりますが、比較的軽度の知的障害の児童生徒が非常に増えてきており、特に中学校で増えています。その根底にあるものとして、保護者の意識が少しずつ変化しておりまして、より早い段階で知的障害の診断を受けて、適切なサービスを受けることを希望される傾向があります。そういったことが、最終的に特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍する知的障害の児童生徒の増加に繋がっているのではないかと考えています。

(福本教育長)

なお、今後の方針に係る内容については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、後程非公開の場で協議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございます。

では、今後の方針以外の部分について御質問等はございませんでしょうか。

(今井委員)

かなり生徒が増えておられて、特にいぶき明生は開校時の2倍、その他の学校でも増えている傾向があるということでしたが、やはり学校のキャパシティ的に相当教育がしにくい状況が生まれているのか、その辺りの現場の状況を少し教えていただけますか。

(甲斐特別支援教育課長)

普通教室がやはり足りなくなっているということで、例えば家庭科室や図書室等の

特別教室を改修して普通教室に転用し、児童生徒の受入れに対応している状況です。それもやはり限界が来るというところもございますので、今後の対応についてはまた後程御説明させていただければと考えています。

（正司委員）

小学部が増え、中学部が増えている状況ですが、追いかけるような形で高等部も増えてくるのか、あるいは高等部は動きが今後変わってくるのか、その辺りについて何か分析等されているのであれば教えてください。

（甲斐特別支援教育課長）

委員御指摘のように今後やはり高等部が増えていくようなことも想定されると思います。ただ、高等部につきましては比較的様々な進学先があるため、県立の特別支援学校に進学される児童生徒の方もいらっしゃるので、様々な選択肢がある中で動いているところもあるかと推測しています。ただ、今後人数が増えていくという可能性はあるかと考えているところです。

（福本教育長）

ほかによろしいでしょうか。

では、公開案件は以上となりますが、教育委員の皆様から教育委員会会議で取り上げるべき事項について御意見はございますか。

（山下委員）

部活の地域移行について、最近他都市の知り合い等にも尋ねられることが結構多くなりました。やはり懸念される点や課題等についてどのように対応していくかについて尋ねられます。自分自身もあまり分かっていない部分があるので、これについて少し時間取って、我々としても合議体の執行機関として、きちんと状況把握と対応の方向性について議論を深めておいた方が良いかと思っています。方法は様々だと思いますが、議論を深める時間をまた取っていただければと思います。後でお話しすれば良かったのですが、忘れるといけないのでここでお話しさせていただきました。

（福本教育長）

後ほど非公開の部分でも協議がありますが、非常に大きな問題で、どこの市町や都道府県も悩んでいる大きなテーマですので、我々としてもより細かなところまで意思統一をしておいた方が良いと思います。議論を深める方向でやっていきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

(賛同)

それでは、本日の公開案件を終了いたします。

閉会 9 時46分